

上切原から金剛多和・山在峠周回による登山道の状況確認

実施日 4月2日(日) 曇り・小雨

参加者 湯川一郎 1名

五大尊岳をネット検索してみると、上切原からのコースを利用されている登山者が多く、崩壊地も修復され高巻きせずに通過できること、さらには3月28日に登山道を整備された方がいたことが分かった。そこで金剛多和から山在峠までの南奥駆道の状況確認を兼ねて出かけた。

駐車場所を探しながらお宮の前で、地元の方に聞いたところ、お宮の駐車場の端(バスの方向転換場所のため)に停めてもらって良いとのことであった。

「五大尊」の標識のある登山口は道路の少し上にあつた。登り始めは落ちた木の枝が多く若干歩きにくい、そこを過ぎると快適な登山道になった。標高217M付近にある大木の根元にはパイプがさしてあり、少しではあるが水が流れていた。

標高300M付近で崩壊地修復跡を通過した。標高350Mから上部には、登山道を整備された方が、トラバース的な傾斜地にロープを取り付けていることから安全に通過することができた。

少し雲行きが怪しくなってきたことから、金剛多和に到着後、水場に向かい水の流れを確認、すぐに大黒天神岳への登りにかかった。大黒天神岳からの下りは落葉ですべりやすくなっているので、ス

リップしないよう気をつけた。



登山口



大木の根元にパイプ



崩壊地修復跡



整備された箇所の一部



14番鉄塔から崩壊地を振り返る



峠の通行止看板

14番鉄塔下で二人組の女性登山者から、大黒天神岳からの下りにどれだけ時間がかかったか、また上切原までの登山道の状況について聞かれたため、それらの質問にお答えした。しかし、雨模様

なつてきたことや車を本宮に停めていると聞いたことから、大黒天神岳まで登り戻られてはどうかとお伝えした。

山在峠に到着した後、地理院地図に記載のある登山道を下ろうとしたが、間伐によるものか分からないが廃道化されたようであり、舗装路を歩きお宮に戻った。

なお、現在小井谷から山在峠までの道路は路肩崩壊のため通行止めとなっている。

(記：湯川)

### 行動タイム

上切原(お宮) 08:07→08:12 五大尊岳登山口 08:12→08:55 崩壊地 08:55→09:29 金剛多和(六道ノ辻)・水場往復 09:45→09:59 大黒天神岳 10:05→10:23 14番鉄塔 10:23→10:56 山在峠 11:06→11:40 上切原(お宮)